

## 福良地区防災フェスタ 災害に備えて



▲福良の街中を歩きながら、避難経路などを確認

福良港津波防災ステーションで、同施設を多くの人に利用してもらい、地震や津波などの災害時に活用してもらうことを目的として、2月19日に福良地区防災フェスタが開催されました。当日は福良の街中を歩きながら各所にある避難所や避難経路を確認していく福良路地裏探訪や、災害時や野外活動の際に活用できるロープワーク体験、特産品の販売など様々なイベントが行われました。



▲救命講習を受ける参加者

間に行う救命活動が紹介され、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDの使い方が伝授され、必ず周りの人に手助けを頼むことやその際には明確に指示を出すことなどが重要なポイントとして伝えられました。

他にも防災グッズの展示や防災に関するクイズなど、防災に対する関心を深めるイベントなどがありました。

また、昨年募集された同施設の愛称発表が行われ、187件の応募の中から、榎本憲太さん（福良）の考えた「うずまる」が愛称として決定されました。榎本さんは



▲愛称を考案した榎本さん

「うずしおをイメージしてこの名前を付けた。これから先、もつと多くの人に親しまれるようになってほしい」と話しました。

## 広田梅林ふれあい公園周辺に桜苗木の植樹



▲桜の植樹を行う地域住民

緑まちづくり協議会は、3月11日、広田梅林ふれあい公園周辺の遊歩道と旧鉄道敷に桜（ソメイヨシノ）の苗木を植樹しました。同協議会は、

◆**内海寛信**（信太朗さん 福良不動講代表）  
内海さんは福祉課を訪れ、地域の方々から集めた12万円を「福祉のために役立ててください」と寄付されました。

◆**津名高校生徒会**  
津名高等学校生徒会が文化祭のバザーの収益金3万円を「社会福祉の向上に役立ててもらいたい」と寄付されました。

◆**市内学童保育所へ図書寄贈**  
職業を持つ女性で組織する奉仕団体、国際ソロプチミスト淡路より市内学童保育所へ図書（40冊）の寄贈がありました。

## 寄附

## ふるさと納税

広報南あわじ3月号で馬部一清さんの名前に誤りがありました。訂正しお詫びします。ご寄附ありがとうございました。

**ふるさと南あわじ応援寄附金**  
寄附状況の公表 (3月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	413件	57,574,719円
市外(島内)	56件	9,341,000円
市外(島外)	247件	29,654,940円
合計	716件	96,570,659円

詳細は市のホームページに掲載しています。



▲一本一本丁寧に植樹

住民主体の活動を通じて地域の魅力を創出し、「いつまでも住み続けたいまち」を実現するために、昨年4月に設立されました。

この日は川向地区の住民約20人と共に、2月に本市出身で大阪の裁断機メーカー（株）タカオ会長の高岡茂さんより頂いた桜の苗木30本を植樹しました。

同協議会の齋藤勝巳会長（広田）は、「かつて広田梅

林ふれあい公園周辺には、華やかな桜が咲き誇っていた。当時の華やかさの再現を夢見て、桜の苗木を植樹した。地域の憩いの場になってほしい」と話していました。

## 財政健全化計画から財政計画へ

このたび市では、平成19年度に策定した「南あわじ市財政健全化計画」から名称を改め、「南あわじ市財政計画」を策定しました。計画の詳細については、市ホームページをご覧ください。

### 本計画の目標

- ① 普通交付税の合併算定替が終了する平成32年度にあっても歳入歳出の均衡が図られていること
- ② 『地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）』に基づく健全化判断比率4指標（実質公債費比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率）についても、より良好な比率を堅持すること

財政課 ☎ 50・3033



これまで財政健全化計画に沿った財政運営を行ってきたことにより、市の財政状況は順調に推移してきました。計画に基づき、歳入規模に見合った財政構造への転換をいち早く実施できたことが主な要因です。

これまでの厳しい財政状況からの脱却が目的であった健全化計画から転換し、将来の市政運営のための新しい計画づくりが必要となってきました。

そこで、税収等、貴重な財源の効率的な配分に努めることはもちろんのこと、世代間負担を考慮しつつ市の活性化にも配慮した計画に再編し、名称を財政健全化計画から財政計画に改めることにしました。

今回策定した「南あわじ市財政計画」は、財政健全化計画の課題への対応とその成果、目標達成度を検証すること、今後の財政運営の基礎づくりの指標として活用でき、健全な財政運営を堅持するために必要な指針とするものです。

### 財政計画（平成23年度策定）

(普通会計において収入及び支出される一般財源※1のみを計上しています。単位：百万円)

年度	決算					計画									
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
歳入計	18,497	17,083	17,183	18,549	19,407	18,690	18,065	18,230	18,462	17,707	16,821	16,310	15,877	15,513	15,230
歳出計	18,316	17,443	17,389	18,712	18,690	18,484	17,897	17,529	18,275	17,657	16,795	16,280	15,849	15,481	15,227
歳入歳出差引	181	△360	△206	△163	717	206	168	701	187	50	26	30	28	32	3
活用予定基金取崩額	693	809	749	874	0	25	36	0	0	0	0	0	0	0	0
活用予定基金の残高	2,693	2,195	1,701	1,299	2,040	2,620	3,112	3,328	3,841	4,120	4,182	4,231	4,512	4,556	4,589
市債発行額	4,185	4,358	2,402	2,339	2,228	2,743	3,176	4,580	4,088	1,735	1,700	1,634	1,468	1,509	1,421
市債残高	45,122	45,610	43,966	40,869	38,759	37,809	37,600	38,611	38,697	36,538	34,871	33,284	31,939	30,686	29,392
実質公債費比率(%) ※2	17.0	19.3	19.9	20.6	19.8	18.2	16.4	15.2	15.0	14.8	14.7	14.8	15.0	15.0	15.1

### 財政健全化計画（平成19年度策定）

年度	決算					計画									
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
歳入計	18,497	17,566	17,196	17,054	16,908	16,804	16,836	17,104	17,238	17,238	16,939	16,330	15,774	15,281	14,837
歳出計	18,316	17,956	17,568	17,769	17,334	16,800	16,636	16,829	16,696	16,503	16,397	15,939	15,530	15,268	14,836
歳入歳出差引	181	△390	△372	△715	△426	4	200	275	542	735	542	391	244	13	1
活用予定基金取崩額	693	820	572	915	426	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活用予定基金の残高	2,693	2,247	1,884	1,076	753	755	760	862	1,002	1,277	1,649	1,927	2,131	2,262	2,278
市債発行額	4,185	4,513	2,762	1,995	1,742	1,750	2,963	3,106	1,687	1,304	1,232	1,188	1,110	1,099	1,060
市債残高	45,122	45,771	44,623	42,359	40,065	38,056	37,600	37,276	35,571	33,591	31,609	29,792	28,065	26,391	24,792
実質公債費比率(%) ※2	17.0	19.3	20.3	21.4	21.5	21.0	19.4	17.9	17.4	17.3	17.2	17.3	17.5	17.6	17.5

※1 一般財源…市税、地方交付税など、使い道が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源。  
 ※2 実質公債費比率…公営事業会計を含むすべての公債費（借金の返済費用）がどれだけ財政の負担になっているかを判断する指標。この比率が18%以上になると地方債の発行に許可が必要になり、25%以上になると一部の地方債発行が制限されます。